令和5年度（第6回）
社会教育委員会議 議事資料

目 次

協議事項

(1) 読書活動の推進について

- 図書館の概要等及び加古川図書館における課題と評価 …… P. 1
- 関係各所と連携したサービスの実施について …… P. 4
- 学習室について …… P. 5
- その他のサービスについて …… P. 7

(2) 令和6年度社会教育委員活動計画（案）について …… P. 9

図書館の概要等及び加古川図書館における課題と評価

1 概要

令和5年6月作成

図書館名	加古川市立中央図書館	加古川市立加古川図書館	加古川ウェルネスパーク図書館	加古川海洋文化センター図書室
開館年月日	昭和60年11月3日 (平成18年4月1日加古川総合文化センター図書館より名称変更)	昭和46年4月1日 令和3年10月1日(移転開館)	平成9年11月3日	平成12年7月1日
専有面積	2,419㎡	2,366㎡	1,989㎡	399㎡
年間開館日数	324日	338日	323日	252日
職員数	30人 <small>(再任用・会計年度任用職員等含む)</small>	19人	17人	13人(兼務1名を含む)
蔵書冊数	333,783冊	142,954冊	265,125冊	73,861冊
年間図書受入冊数	9,577冊	6,807冊	9,653冊	1,867冊
うち購入	7,934冊	5,892冊	9,081冊	1,468冊
予約件数	72,354件	95,807件	48,883件	29,626件
レファレンス件数	1,696件	592件	541件	332件
相互貸借件数	借受318/件/貸出495件	借受337件/貸出95件	借受171件/貸出345件	借受47件/貸出22件
運営	直営(加古川市教育委員会)	指定管理者 (図書館流通センター)	指定管理者 (西部共同企業体)	指定管理者 (S&Oグループ)

※数値は令和4年度実績。但し、職員数、蔵書冊数は令和5年4月1日現在。

2 利用状況

貸出冊数(個人)

図書館名	区分	R 4年度	R 3年度	R 2年度	R元年度
中央図書館	一般	312,055	349,954	287,790	351,673
	児童	122,411	137,749	98,797	125,221
	計	434,466	487,703	386,587	476,894
(新) 加古川図書館	一般	266,479	133,990	-	-
	児童	145,367	74,231	-	-
	計	411,846	208,221	-	-
(旧) 加古川図書館	一般	-	49,142	168,835	210,309
	児童	-	21,910	76,846	109,290
	計	-	71,052	245,681	319,599
ウェルネスパーク 図書館	一般	309,795	342,431	306,714	366,620
	児童	123,136	141,004	111,283	146,988
	計	432,931	483,435	417,997	513,608
海洋文化センター 図書室	一般	79,560	113,799	91,332	105,920
	児童	58,467	89,186	64,564	85,498
	計	138,027	202,985	155,896	191,418
合計		1,417,270	1,453,396	1,206,161	1,501,519

(冊)

貸出人数(個人)

図書館名	区分	R 4年度	R 3年度	R 2年度	R元年度
中央図書館	一般	106,708	117,485	98,242	111,362
	児童	13,097	15,080	11,023	17,266
	計	119,805	132,565	109,265	128,628
(新) 加古川図書館	一般	124,357	60,113	-	-
	児童	14,086	7,608	-	-
	計	138,443	67,721	-	-
(旧) 加古川図書館	一般	-	19,184	70,347	91,695
	児童	-	2,334	9,478	14,424
	計	-	21,518	79,825	106,119
ウェルネスパーク 図書館	一般	93,764	102,201	90,857	118,230
	児童	11,205	13,184	11,134	16,591
	計	104,969	115,385	101,991	134,821
海洋文化センター 図書室	一般	31,624	44,764	36,311	44,454
	児童	5,513	8,445	6,394	9,569
	計	37,137	53,209	42,705	54,023
合計		400,354	390,398	333,786	423,591

(人)

蔵書冊数

図書館名	区分	R 4年度	R 3年度	R 2年度	R元年度
中央図書館	一般	259,713	262,413	266,550	263,247
	児童	74,070	72,768	73,357	72,990
	計	333,783	335,181	339,907	336,237
(新) 加古川図書館	一般	100,717	-	-	-
	児童	42,237	-	-	-
	計	142,954	-	-	-
(旧) 加古川図書館	一般	-	110,039	116,273	114,500
	児童	-	40,405	41,558	42,185
	計	-	150,444	157,831	156,685
ウェルネスパーク 図書館	一般	204,872	205,454	199,217	204,610
	児童	60,253	58,538	56,809	58,764
	計	265,125	263,992	256,026	263,374
海洋文化センター 図書室	一般	49,033	49,036	48,561	47,438
	児童	24,828	24,516	24,471	23,971
	計	73,861	73,552	73,032	71,409
合計		815,723	823,169	826,796	827,705

(冊)

登録者数

図書館名	区分	R 4年度	R 3年度	R 2年度	R元年度
中央図書館	一般	21,451	21,974	26,300	24,095
	児童	3,506	4,447	4,678	4,815
	計	24,957	26,421	30,978	28,910
(新) 加古川図書館	一般	19,760	-	-	-
	児童	2,694	-	-	-
	計	22,454	-	-	-
(旧) 加古川図書館	一般	-	15,257	10,486	9,741
	児童	-	3,126	3,095	2,902
	計	-	18,383	13,581	12,643
ウェルネスパーク 図書館	一般	15,990	16,712	21,008	19,747
	児童	1,963	2,601	3,096	3,158
	計	17,953	19,313	24,104	22,905
海洋文化センター 図書室	一般	7,087	7,392	8,998	8,303
	児童	1,426	1,904	2,174	2,193
	計	8,513	9,296	11,172	10,496
合計		73,877	73,413	79,835	74,954

(人)

3 市内4図書館の特色

- ・中央図書館・・・レファレンス機能の強化と地域・郷土資料の収集保存に力を入れて、市内全館の中心的な機能を担う。
- ・加古川図書館・・・勤労者や中学生・高校生の利用を重視した資料収集とサービスを担う。
- ・ウェルネスパーク図書館・・・健康や生活の充実に関連した資料収集とサービスを担う。
- ・海洋文化センター図書室・・・海洋関係の資料収集とサービスを担う。

4館はその図書館の近くに住んでいる市民など、利用者にとっては身近な図書館としての役割とそれぞれの機能を踏まえ、活動を行っています。が、いずれの館も加古川市の図書館として引き続き連携しながら利用者サービスに努めていきたいと考えています。

4 加古川図書館における課題と評価

(1) 利用者数について

- ・駅近の立地、商業施設内への移転、また学習席の充実により、従来より来館が少なかった中学・高校生の利用が増えた。
- ・専用駐車場がなく、提携駐車場からも距離があることから1人当たりの貸出冊数が他館と比較して少ない。持ち運びの点から一度に多くの冊数を借りることを控えているのではないかと推測される。
- ・資料の貸出については旧加古川図書館に比べて格段に増加しており、移転開館により多くの方に利用していただいていることはありがたいと思っています。

(2) 施設等との連携

- ・カピル21内の施設や店舗(紀伊國屋書店加古川店、加古川駅南子育てプラザ、かこがわ将棋プラザ、国際交流センター、男女共同参画センター等)、加古川ヤマトヤシキとの連携イベントにより、来館者に各種情報提供を行っており、利用者増につながっていると考えている。
- ・連携することにより図書館単独の場合よりも、より多くの情報提供が可能であるため、今後とも工夫しながら継続していくことが必要であると考えている。

(3) 図書館の担う役割について

- ・行事、イベント参加者は増えており、それらを通じた利用者同士の交流や居場所作りなど、本の貸出だけではない図書館の役割が求められているように感じている。

(加古川図書館)関係各所と連携したサービスの実施について

1 概要

利用者や市民が生活を送る上で問題を解決するために必要、または有効な情報提供については日常の貸出閲覧などの資料提供だけでは不十分な点があるため、施設内の店舗及び施設をはじめ、行政各署等との連携により各種行事イベントを開催し、併せて特設コーナーに関連本や関係チラシ、啓発グッズなどを配置して情報の提供を行っている。

また、学校や児童に対するサービスは、団体貸出、出張おはなし会、まちたんけん（生活科の学習の一環での図書館訪問）において実施している。

2 施設内の店舗及び施設との連携イベント実績例(令和5年度)

イベント名	内容	連携先	実施日	人数
早見和真トークショー&サイン会	絵本「かなしきデブ猫ちゃん」著者によるトークショー&サイン会	紀伊國屋書店加古川店	4.30	サイン会 40名
「算数教室」 ・虫食い算講座 ・素数と素数ゼミ	算数を楽しく学ぶ講座 (小学生対象)	兵庫大学エクステンション・カレッジ	7.22 12.22	23名 22名
わくわく子育てカレッジ(講師)	読み聞かせ時の絵本の選び方について	加古川駅南子育てプラザ	9.3	9名
将棋が題材になった本	将棋が題材になった小説の展示	かこがわ将棋プラザ	11.1~11.30	—
アーヴィンさんのえいご de えほん	市国際交流員による英語絵本の読み聞かせ	国際交流センター	11.26	18名
プチ不調を乗り切ろう	更年期の知識を深める講座	男女共同参画センター	11.29	13名
県立高校吹奏楽演奏会	加古川西高、加古川南高校吹奏楽の演奏会	加古川ヤマトヤシキ	概ね月1回	—

(連携先とイベント開催回数 4.1~1.31)

- ・紀伊國屋書店加古川店 → 13回
- ・兵庫大学エクステンション・カレッジ → 18回
- ・加古川駅南子育てプラザ → 10回
- ・かこがわ将棋プラザ → 1回
- ・国際交流センター → 1回
- ・男女共同参画センター → 3回
- ・加古川ヤマトヤシキ → 15回

3 行政関係部署との連携特設コーナー実績例(令和5年度)

テーマ	連携先	実施期間
①令和5年度小・中学校教科書展示会	学校教育課	6.15~6.28
②人権推進協調月間	人権文化センター	8.1~8.31
③自殺予防月間	市民健康課	9.1~9.30
④乳がん月間	市民健康課	10.1~10.31
⑤LGBTQ+展示	市民活動推進課	11.18~12.9

※①は文部科学省刊行の令和6年度使用教科書目録に記載されている教科書見本を展示し、保護者や一般市民に教科書についての関心や認識を深めてもらった。

②~⑤は各テーマにまつわる図書や、連携先から提供される啓発ポスターやグッズを特設コーナーとして設置し啓発を行った。

(加古川図書館)学習室について

- 1 システム名 (株) タックポート社の座席予約システム (eB00TH)
 - ・座席は完全予約制としている。
 - ・インターネットから利用者自身で空席状況の確認及び利用予約が可能 (10:00~12:55、13:00~15:55、16:00~18:55 の3枠)
 - ・来館しての利用予約は、30分/60分/90分/120分/180分から選択可能
 - ・1日の利用回数に制限なし、空きがあれば何度でも利用可能
- 2 利用対象
 - ・加古川市内の図書館で利用登録している方
 - ・旅行やビジネスで立ち寄った方には一時利用として「ゲストカード」を発行して対応
- 3 座席数
 - ・学習・ワークスペース 102席 (PC、コンセント使用可)
 - ・カウンターテーブル 13席 (PC、コンセント、USB コンセント使用可)
 - ・セミナールーム 28席 (PC 使用不可、コンセント無) イベントで使用しない場合に限り開放している。 ※内 14席は館内予約専用
- 4 座席予約システムのメリット・デメリット
 - (メリット)
 - ・インターネットから利用予定日の1週間前から予約が可能のため、開館時間前に並ぶ必要がない。
 - ・座席をランダムに割り当てる方式のため、友人同士が隣合うことがなく室内の静寂が保てる。
 - (デメリット)
 - ・予約と予約の間に利用できない隙間時間ができてしまう。
 - ・予約票に記載された終了時間より前に退席する際手続きをせずに帰られる方がおり、利用中かそうでないかの判断が難しいことがある。
- 5 課題等
 - ・予約管理だけの単独システムのため利用者の情報がわからず、学習室の利用状況や利用者層の分析ができない。
 - そのため、利用者の属性等を把握するためには、可能であれば図書館システムとの連携が必要と考えている。
 - ・利用者数が年々増えており、web 予約枠 (3時間) の精査が必要である。
- 6 利用推移
 - ※令和3年度は、10月~3月の実績
 - 令和5年度は、4月~12月の実績
 - (別紙のとおり)

加古川図書館 学習・ワークスペース等利用状況

(単位:人)

座席利用数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学習・ワークスペース	令和5年度	4,743	6,240	6,021	8,856	9,288	7,064	8,077	7,655	7,735	-	-	-	65,679
	令和4年度	4,465	6,054	5,859	7,728	8,658	5,525	7,543	7,204	6,657	6,548	6,708	4,962	77,911 (4-12月 59,693)
	令和3年度	-	-	-	-	-	-	6,161	6,662	6,689	6,034	6,444	4,135	36,125
	対前年度比	106.2%	103.1%	102.8%	114.6%	107.3%	127.9%	107.1%	106.3%	116.2%	-	-	-	110.0% ※
セミナールーム	令和5年度	304	812	686	1,467	1,476	946	1,263	1,039	1,177	-	-	-	9,170
	令和4年度	328	814	640	986	886	461	1,105	763	814	789	902	377	8,865 (4-12月 6,797)
	令和3年度	-	-	-	-	-	-	605	708	1,017	524	667	356	3,877
	対前年度比	92.7%	99.8%	107.2%	148.8%	166.6%	205.2%	114.3%	136.2%	144.6%	-	-	-	134.9% ※
カウンター テーブル	令和5年度	848	1,016	1,176	1,480	1,470	1,243	1,346	1,298	1,303	-	-	-	11,180
	令和4年度	879	943	1,108	1,290	1,344	1,041	1,351	1,246	1,217	1,120	1,140	1,049	13,728 (4-12月 10,419)
	令和3年度	-	-	-	-	-	-	936	1,051	1,041	1,074	962	844	5,908
	対前年度比	96.5%	107.7%	106.1%	114.7%	109.4%	119.4%	99.6%	104.2%	107.1%	-	-	-	107.3% ※
合計	令和5年度	5,895	8,068	7,883	11,803	12,234	9,253	10,686	9,992	10,215	-	-	-	86,029
	令和4年度	5,672	7,811	7,607	10,004	10,888	7,027	9,999	9,213	8,688	8,457	8,750	6,388	100,504 (4-12月 76,909)
	令和3年度	-	-	-	-	-	-	7,702	8,421	8,747	7,632	8,073	5,335	45,910
	対前年度比	103.9%	103.3%	103.6%	118.0%	112.4%	131.7%	106.9%	108.5%	117.6%	-	-	-	111.9% ※

※ 対前年度比は令和4年4月～12月分に対する令和5年4月～12月分の比率です。

(加古川図書館)その他のサービスについて

1 IC タグ、セルフ貸出機の導入

【システムの概要】

- ・機器メーカー 株式会社ソフエル
- ・タグのメーカー 大日本印刷
- ・導入機器 ①セルフ貸出機 2台
②IC ゲート 2か所
③蔵書点検用リーダー 2台
④エンコード用リーダライタタイプ 2台
- ・タグの種類 UHF 帯

【内容・効果など】

- ・すべての蔵書に IC タグを貼付しており、利用者の希望によりセルフ貸出機を使用して貸出処理が可能
- ・IC ゲートの設置により、無断持ち出し等による不明資料数が大きく削減
(H29 不明 129 冊 、 H30 不明 123 冊 、 R4 不明 79 冊 、 R5 不明 55 冊)
- ・蔵書点検作業の効率化による資料整理期間の短縮
(R3 まで 12 日間 → R4 以降 5 日間)
- ・貸出資料について職員に知られたくない場合など、図書館の利用に際してプライバシーの確保にも有効

【課題】

- ・セルフ貸出機については、設置場所がカウンターより後方にあること、市内他館(室)資料には IC タグがされていないため、予約本(他館所蔵資料を加古川図書館で貸出)の貸出については使用できないこと、またセルフ貸出機の台数が2台と少ないことなどもあり、利用数の伸び悩みがみられる。
- ・IC タグを利用した蔵書管理は、市内4図書館のうち加古川図書館のみで全体的な効果を引き出すためには全館での導入が望ましい。ただし、全館導入には相応の経費や期間が必要なため、具体的な計画は立っていない。

セルフ貸出機利用推移

年度	利用人数 (セルフ/全体)	比率	利用冊数 (セルフ/全体)	比率
R 3 (10~3月)	23,427 人/67,721 人	34.5%	86,747 冊/208,221 冊	41.6%
R 4	27,106 人/138,443 人	19.5%	94,541 冊/411,846 冊	22.9%
R 5 (4~12月)	15,640 人/105,442 人	14.8%	51,024 冊/309,170 冊	16.5%

2 ビジネス活動等への支援

flier（フライヤー）の導入

flier（フライヤー）とは、厳選された話題のビジネス書などを約 10 分で読めるように要約した Web による時短読書サービスである。毎日 1 冊配信され、来館者のスマートフォンやタブレットを館内の Wi-Fi に接続することで制限なく利用（閲覧）できる。

（年間利用人数）

R3 年度(10～3 月) →247 人 (41.1 人/月)

R4 年度 →583 人 (48.5 人/月)

R5 年度(4～12 月) →603 人 (67 人/月)

3 無線 LAN (Wi-Fi) サービス

- ・1 度に 200 人まで接続が可能

ただし、1 回当たりの接続時間は 1 時間となっている。1 日の接続回数に制限はない。

4 カフェサービス（自動販売機）について

- ・館内にカップ式を、多目的スペースにペットボトルタイプをそれぞれ設置している。フタ付の飲み物に限り館内どこでも利用が可能としている。

5 多目的スペース

- ・座席数は 15 席。利用者が飲み物を飲みながらゆっくりと休憩できるフリースペースで、時間に制限はあるが食事も可能としている。

6 読書スペース(イベントスペース)

- ・21 席。通常は閲覧スペースとして使用しており、時間に制限はあるが食事も可能。イベント開催時には間仕切りを外してオープンスペースとして使用

7 駐車、駐輪場サービス券交付

- ・提携駐車場 4 ヶ所（駅南立体駐車場、OK パーキング、平成パーキング、オーエムパーキング）については、駐車券と図書館カードの提示で 1 時間無料サービス券を交付している。また提携駐輪場 1 ヶ所（駅南自転車駐車場）については、小学生・中学生・高校生世代のみ 2 時間超無料サービスを実施している。

令和6年度社会教育委員活動計画（案）について

スケジュール

回	時期	内容
第1回	4月	・令和6年度社会教育委員活動計画（案）について ・各課事業の推進について （各課より令和6年度の予算や事業について説明）
第2回	6月	・社会教育施設の運営について （社会教育施設の利用状況や事業について説明） ・社会教育事業の推進について
第3回	8月	・社会教育事業の推進について
第4回	10月	・社会教育事業の推進について
第5回	12月	・社会教育事業の推進について
第6回	2月	・社会教育事業の推進について